

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

都市計画課長 西村成人

電話番号

0852-22-5209

事務事業の名称	都市公園の管理運営	
目的	(1) 対象	県立都市公園利用者
	(2) 意図	都市公園の機能を維持し、安全で快適な利用を確保する。
事業概要	県立都市公園（浜山公園、石見海浜公園、万葉公園）の適切な維持・修繕・管理運営を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	公園利用者数	目標値	139.0	139.0	139.0	139.0	万人
			取組目標値					
	式・定義	公園利用者数	実績値	145.4				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	354,249	368,864
うち一般財源 (千円)	343,320	358,756

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度は達成率が約104.7%と目標を達成した。（夏季の天候も安定していたため、各公園とも対前年比2.5%~7.5%増となった。）
これからも公園利用者のニーズに対応したサービス（スポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等）を提供するために、施設の適切な整備や維持管理を推進し、安全で安全な施設利用に貢献することで、公園利用者数の増加に努める。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成27年度は、夏季の天候も安定していたため、各公園とも利用者増となった。
特に石見海浜公園の海水浴客やキャンプ場の利用者が増え、約4.7万人増となった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

施設の維持管理費が増加傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」

施設の老朽化や設備の陳腐化

③原因を解消するための「課題」

公園利用者のニーズを踏まえた施設・設備の整備

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・公園利用者のニーズを踏まえた施設・設備の整備には「予算」が伴うため、引き続き当局に働きかける。
・平成22年度より指定管理者評価制度を導入し、外部委員による評価を受けている。その結果を、今後の公園管理に反映し、適正な管理水準の維持と県民サービスの向上を図る。

9. 追加評価（任意記載）

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。